

2023 年 2 月 24 日

一般社団法人カメラ映像機器工業会 (CIPA)

2023 年カメラ等品目別出荷見通し

一般社団法人カメラ映像機器工業会 (CIPA：代表理事会長 石塚茂樹) は、このほど 2023 年カメラ等品目別出荷見通しをまとめた。

1. 2022 年出荷実績

デジタルカメラ総出荷は前年比 95.8%、主力の「レンズ交換式」は 2 桁伸長 110.8%。

2022 年 (1～12 月累計) のデジタルカメラ総出荷実績は 8,011,598 台、前年比 95.8%となった (別添表は万台単位とした)。

1999 年の統計開始時点から劇的なまでの増加を続けたが、2009 年に世界的な景気後退の影響を受けて初めて減少、2011 年は東日本大震災やタイ国洪水による打撃もあって減少、以降減少が続き、2017 年こそ増加に転じたものの、2018 年から 5 年連続の前年割れとなった。

しかしながら、総出荷の 4 分の 3 近く、74%を占める「レンズ交換式デジタルカメラ」は 5,926,733 台、前年比 110.8%となった。

かつての劇的増加期の立役者であった「レンズ一体型デジタルカメラ」、いわゆるコンパクトデジタルカメラは 2,084,865 台、前年比 69.2%。手軽さも手伝って 2017 年までデジタルカメラ全体の過半数を占めたが、更に手軽なスマートフォンの台頭もあって低減傾向が続いている。

その一方で「レンズ交換式デジタルカメラ」は好調、前年 2 桁伸長という実績となった。

スマートフォンを手にするや否やたくさんの写真を撮り続けてあつという間に写真に対して目が肥える、手練れとなる方々が莫大な数に膨れ上がる時代を迎えて、新たに芽生えた「もっと良い写真を」「撮れなかった写真を今度こそは撮りたい」という抑え切れない思いの受け皿を「レンズ交換式デジタルカメラ」が担っている。

もちろん「撮りたい」被写体に対して妥協せず、真剣勝負で向き合う姿勢を貫く、以前からの「レンズ交換式デジタルカメラ」ユーザーの存在も当マーケットの根幹をなすものである。

当マーケットの誇りともいえるこれらユーザーの皆様の熱量は、『『フォトイメージングマーケット統合調査：国内編』の結果について』をご参照いただきたい。

<https://www.cipa.jp/documents/j/pressrelease20230201.pdf>

もう一つの主力商材、「交換レンズ」は前年比 101.9%。

当マーケットを代表するもう一つの主力商材、「交換レンズ」は 9,727,978 本、前年比 101.9% となった。

「レンズ交換式デジタルカメラ」(ボディ側)のおよそ 1.6 倍に達し(2022 年 1 年間で見て、「レンズ交換式デジタルカメラ」1 台に対して「交換レンズ」1.6 本を出荷)、存在感を示した。

「交換レンズ」で写真表現は決定的に変わる。

「交換レンズ」を買い増すこと、それはカメラによる表現の幅を広げるアプローチであり、写真に向き合う深度の表れともいえる。多くの方々が、交換レンズを駆使してカメラで写真を撮るといった行為に情熱を傾け続けている。

「日本向け」及び「日本向け以外」前年比

地域別では、「デジタルカメラ全体」は「日本向け」80.4%、「日本向け以外」98.3%。

「レンズ一体型デジタルカメラ」は「日本向け」59.5%、「日本向け以外」72.5%。

「レンズ交換式デジタルカメラ」は「日本向け」122.3%、「日本向け以外」109.9%。

これらの範囲では高付加価値商材「レンズ交換式デジタルカメラ」が「日本向け」でリードしているように見えるが、従来「日本向け」は他の地域に比べて「レンズ交換式デジタルカメラ」の比率がやや低い傾向にあったことから、他の地域のバランスに近付いたものといえる。

「交換レンズ」は「日本向け」111.6%、「日本向け以外」101.0%だった。

2. 2023 年出荷見通し

コロナ禍の暗雲が完全に晴れたとは言い難いことに加えて世界的な半導体供給不足が続いていることから、実力値を最大限に発揮できない懸念は残り、2023 年(1~12 月累計)のデジタルカメラ総出荷は 740 万台、前年比 92.4%、内「日本向け」84 万台、90.3%、「日本向け以外」656 万台、92.7%と見通した。

タイプ別では、「レンズ一体型デジタルカメラ」は 168 万台、前年比 80.8%、内「日本向け」37 万台、80.4%、「日本向け以外」131 万台、80.4%、「レンズ交換式デジタルカメラ」は 572 万

台、96.5%、内「日本向け」47万台、100.0%、「日本向け以外」525万台、96.2%と見通した。

交換レンズは939万本、前年比96.5%、内「日本向け」86万本、97.7%、「日本向け以外」853万本、96.4%と見通した。

以上

2023年カメラ等品目別出荷見通し

一般社団法人カメラ映像機器工業会

単位:万台(レンズは万本)

品目	総出荷											
					日本向け				日本向け以外			
	2022年実績	前年比	2023年見通し	前年比	2022年実績	前年比	2023年見通し	前年比	2022年実績	前年比	2023年見通し	前年比
デジタルカメラ<合計>	801	95.8%	740	92.4%	93	80.4%	84	90.3%	708	98.3%	656	92.7%
レンズ一体型	208	69.2%	168	80.8%	46	59.5%	37	80.4%	163	72.5%	131	80.4%
レンズ交換式	593	110.8%	572	96.5%	47	122.3%	47	100.0%	546	109.9%	525	96.2%
交換レンズ	973	101.9%	939	96.5%	88	111.6%	86	97.7%	885	101.0%	853	96.4%

注:数値のうち四捨五入により計算の合わないものがある。

この件に関する問い合わせ先：
一般社団法人カメラ映像機器工業会
E-mail：infostat@cipa.jp
URL：<http://www.cipa.jp/>